



学校だより

# 桐里っ子 HP版

須崎市立井上小学校  
平成30年1月11日  
文責：校長 宮坂

あけまして おめでとうございます

今年も 井上小学校を どうぞよろしく申し上げます！

穏やかな年明けになりました。1月10日（水）に始業式が行われ、48日間の学年のまとめになる3学期が始まりました。始業式では、1年生と5年生の代表児童4人が新年の決意を発表してくれました。学習や体力作り、新しい学年に向けての決意など、意気込みが感じられる発表でした。

始業式にお話した校長講話の概要をお知らせします。

みなさん、明けましておめでとうございます。2018年が始まりました。何年だか知っていますか？そうです、「戌年」です。戌年という字はもともと「まさかり」という金太郎さんが肩に担いでいた斧の「刃の部分」の絵からできた字です（象形文字）。意味はあまり関係なく、音を借りただけのようですが、おまじないに使うまさかりは悪いものを切り払って雪のようにきれいにするという意味がありますから、縁起がよいので使われているのかもしれない。

戌年は戌の字がさすように滅する年、つまり草木が枯れて休眠する年、ともいわれています。季節の変化を受け入れ休眠し、次の月（亥）に命の種と力を委ねるといことなのだそうです。勉強や家庭での生活、人間関係……これまで続けてきたさまざまな取り組みに、きっと良い結果が表れる年になるでしょう。努力が報われる、形になるのが、戌年なのです。一方で戌年は、収穫を終えて、ひとつ息をつく季節でもあります。いままで築いてきたものに対して、よし、という結果を得たら、次のステップへの準備をする年なのだそうです。

酉年とか、戌年とかいうけれど、これは十二支と言われますね。言える人いますか？「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」の12種類の動物を当てはめたものです。天球を12年かけて1周する木星の位置を示したもので、これらの漢字はもともと「季節ごとの植物の様子」が由来となっていたそうです。ちょうど12ヶ月分ありますね。方角をいうにもちょうどいいし、時刻を表すにもちょうどいいですね。昔話の桃太郎は「猿 キジ(鳥) 犬」を家来につれて、鬼が入ってこようとする鬼門、つまり鬼ヶ島に鬼を退治に行っていますね。日本では縄文時代から犬の祖先であるオオカミを飼い始めていたし、次の弥生時代には「犬」と言われていました。そんな大昔の時代に、誰にでもわかるように動物を当てはめていったのではないか？という説があるようです。

戌年の次、2019年は十二支の最後である亥年です。そして2020年は子年から、再び新しい十二支が始まります。東京オリンピックのある2020年にどうなっていたいのか、なにをしたかったのか。それを考えて動き始め、種を撒きはじめる。2018年はそんな年にもしたいものです。

まずは、3学期を今年度のまとめと仕上げの時期として 頑張りましょう！！

## スラックラインの用具を寄付いただきました！

昨年、小布施でワールドカップが開催された「スラックライン」。  
このたび小布施浄光寺内 スラックライン機構様から中澤製作所様の協賛のもと、井上小に一台ご寄付いただきました。  
ありがとうございます！！

